大型トラックが故障や大雪で立ち往生した際、「フロント・けん引フック」の場所がわからないとの問い合わせが多くなっています。・・・

大型トラック・バスの フロント・けん引フック

大型トラック・バスには、車両の前後に「けん引用フック」*1 を備えており、「フロント・けん引フック」は、フロント・バンパーの内側など、カバーで覆われ、通常の状態では見えない場合があります。*2

「フロント・けん引フック」を使う時には、下図に例示するように カバー類などを取外して使用してください。

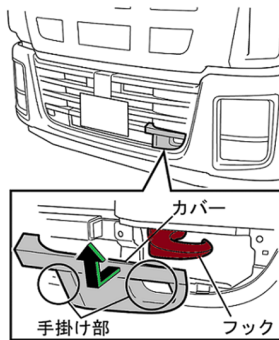
なお、「けん引フック」を使用してけん引する際には、「取扱説明書」の指示に従って行ってください。不適切な使用は、思わぬ事故を招きます。

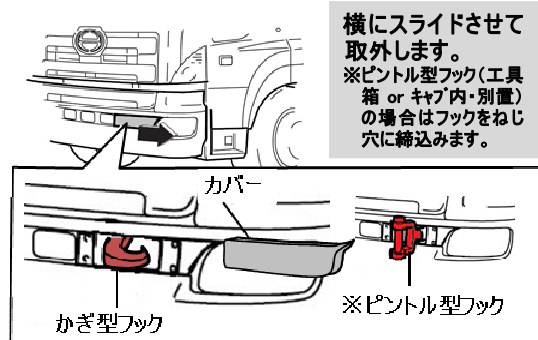
「フロント・けん引フック」の使用が終わったら、必ず、再度カバーをしっかり取付けてください。

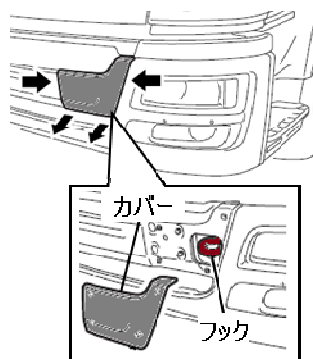
※溝やぬかるみなどに車両がはまり込んで（スタックして）いる場合など、大きな力がかかるけん引が必要な時は、使用しないでください。このような場合のけん引には危険が伴いますので、専門のレッカー業者に依頼することを お勧めします。

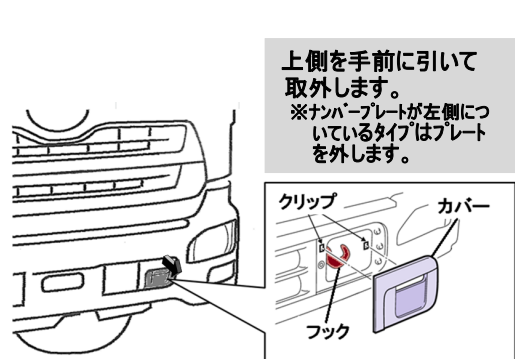
＊1：一部の車両はけん引フックが装着されていない場合があります。詳しくはお近くの販売会社にお問い合わせください。
＊2：大型トラック・バスの一部では、車両の空気抵抗低減による燃費向上などの観点から、カバーで覆っています。

〔大型トラック〕フロント・けん引フック カバーの取外し

いすゞ・ギガ

手掛け部を手前に引き上げて取外します。
※スクリュウを外すタイプもあります。

日野・プロフィア

横にスライドさせて取外します。
※ピントル型フック（工具箱 or キャブ内・別置）の場合はフックをねじ穴に締込みます。

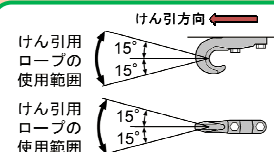
三菱ふそう・スーパーグレート

下側を手前に引いて外し、両側に指を入れて取外します。

UD・クオン

上側を手前に引いて取外します。
※ナンバープレートが左側についているタイプはプレートを外します。

※標準的車両の例を示します。その他の車両については、車載の「取扱説明書」をご覧ください。

（2014 年 12 月現在）

「けん引フック」取扱いの注意点

- けん引用ロープは、右図の範囲で使用します。
- けん引用ロープは、強度のあるものを使用し、外れないようにします。
- けん引用ロープやフックには、大きな力や急な力がかからないようにします。

国土交通省
一般社団法人 日本自動車工業会
いすゞ自動車㈱／日野自動車㈱／三菱ふそうトラック・バス㈱／UDトラックス㈱